

国立市富士見台 2-47-1

国立市役所産業振興課内

Tel.042-576-2111 (内 346・347)

～「農地を活かし、地域を育てゆく」を合言葉に、地域の農業振興に取り組みます。～

城山さとのいえ 1周年記念イベントを開催しました

晴天に恵まれ、3月20日(日)に城山さとのいえで1周年記念イベントが行われました。市内農家の精米所でお話を聞く米ウォーキング、じゃがいも・とうもろこしの植え付け、写真撮影のワークショップ、古民家でのコンサートと昔遊び、青空市産直広場、プレーパークでの自然体験遊び、菜の花畑でのお花摘み、喫茶わいがやのコーヒー・クッキーの配布など参加者の皆さまに五感を使った1日を楽しんで頂きました。



—農ある暮らし—

城山さとのいえの1年



くにたちウォーキング



ミニごぼう収穫体験



さつま芋収穫と調理体験



夏の終わりの頃



じゃが芋収穫体験



なす収穫体験



近隣の幼稚園児たち



冒険遊び場

平成27年3月22日にオープンした城山さとのいえでは、1年間に35回のイベントが行われ、延べ1,368名の方が参加されました。今後も市内農園での収穫体験や、生産者との交流を通して、多くの方にくにたち野菜に親しみを持っていただけるような農の体験を提案してまいります。

2月10日農業者懇談会を開催しました



まず、東京都農業会議事務局長・北沢俊春氏より「農業委員会法改正」について、続いて農業委員会事務局から「認定農業者支援事業」及び「都市農業振興基本計画」について説明があり、さらに佐藤一夫国立市長との意見交換という形で進行了ました。当日は約30人の参加者があり、「国立市の農業と農地を守る」ためにはどうすべきか、農業者の皆さんからもさまざまな意見や提案がありました。以下、主な発言を報告しておきます。(国立市役所にて)

市民がくにたち野菜に何を望んでいるかという、自分が聞いた調査によると鮮度と安全が一番、以下、顔が見える安心感、品種の豊富さ、季節に応じた旬の野菜となっている。

市内のスーパーに『くにたち野菜』というブランドで売り込んでほしい。

認定農業者がそれなりの収益を確保するためには、市としても真剣に支援してほしい。

これからの くにたち農業は？

月山のふもと西山町では、月山の雪解け水を販売して、2億円の利益を得たそうだ。見習ってはどうか。

水田をもっと拡大したい。

市民が共有できる農地保全の仕組みも併用してはどうだろう。

くにたち野菜を全国に発送する。

補助金は非常に助かるが、それ頼みにしてはいけない。

ほかにも耕作地を借りて、新しい品種にチャレンジしたい。

相続税が最大の問題。農地を保有するためには事業用宅地などへの相続税軽減制度の確立。

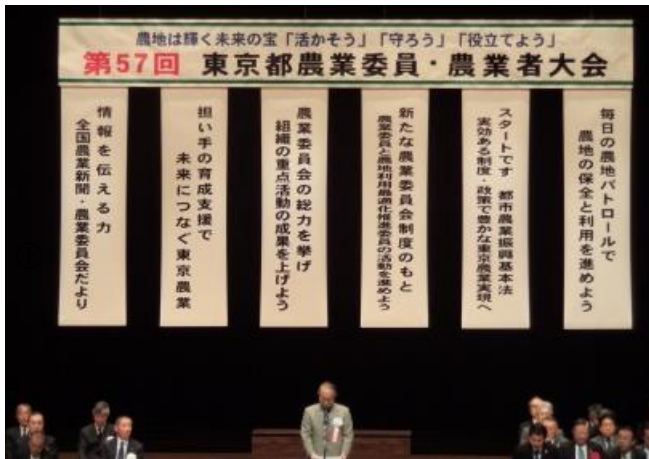
市民農園や体験農園、レジャー農園、農業公園などいろいろな角度からの農地保全について検討すべきだ。

さまざまなことに挑戦する姿勢が必要。



江戸川区の小松菜やほうれん草の様に、回転数を上げて栽培し販売することを検討したほうがいい。

第57回東京都農業委員・農業者大会開催



2月26日、今年度の「東京都農業委員・農業者大会」が昭島で開催され、各種の協議事項が全会一致で無事、採択されました。同時に執り行われた各表彰式では5人の方が受賞されました。

- ① 企業的農業経営顕彰 野菜部門 東京都知事賞・東京都農業会議会長賞：杉田保則・智恵子夫妻
- ② 農業後継者顕彰 東京都農業会議会長賞：遠藤道宣・晴子夫妻
- ③ 農業功労者感謝状：佐藤キミ子さん



杉田夫妻



遠藤夫妻



佐藤さん



また平成27年度の北多摩地区農業委員会優秀経営者表彰は澤井豊弘さん（左）が受賞されました。「このような賞を受賞しまして、ありがたく感じております。地産地消を目指し、市の農政に貢献したいです。」（澤井さん）

受賞者の皆さま、心よりおめでとうございます。

平成27年度 8名の認定農業者が誕生しました

平成26年度に国立市で初めて10名の農業者の方が認定され、本年度においても新たに8名の認定農業者が誕生しました。「認定農業者制度」とは、効率的で安定した魅力ある農業経営を目指す農業者が自ら作成する農業経営改善計画を、市の基本構想に照らして認定し、その計画達成に向けて支援していくものです。認定農業者になると、国立市独自の補助事業や東京都による補助事業等を受けることができます。また、市では認定農業者向けの研修会や講習会の開催なども企画していく予定です。次年度以降も更なる拡充に向け取り組んでいきますので、本制度へのご理解ご協力をお願いいたします。



左上から、

杉田幹男さん、佐伯和弘さん、西野利夫さん、三田廣さん、遠藤道宣さん、佐藤一夫市長、遠藤隆太さん

この他、遠藤利光さん、長嶋義範さん 合計8名

青空市 年末販売は大盛況でした

平成27年12月28日(月)に毎年恒例の青空市年末直売会を開催しました。

会場となった市役所西側広場は年末年始用に新鮮な野菜を求めるお客さんで大賑わいでした。

大根、白菜、小松菜、ほうれん草、レンコンなどの冬野菜の他、菊芋など珍しい野菜も並び、興味津々で農家さんに調理方法を聞いているお客さんもいました。

市民の皆さまに楽しみにして頂いている青空市、今年度も北市民プラザ、市役所西側広場、市内各地で開催します！！



稲作体験学習会圃場は古民家前に戻ります



平成24年より区画整理の為、地元の農家さんの土地をお借りして行っていた市内小学校5年生児童による稲作体験学習会の圃場は、平成28年度より古民家前に戻ります。各校で事前にDVDで稲作の全体像を学習します。初夏の田植えに始まり、稲が穂を付ける頃に案山子作成、秋の稲刈りと自然の中で季節の移ろいを感じながら、全身を使ってお米を作ります。その後、収穫したお米で調理も行います。

城山に子供たちの声が響く春はもうすぐです。



農業者のみなさんへ



農業委員会では、年間を通して耕作の相談、農地の見守り、営農支援に関する活動を随時行っています。農業者のみなさま、お気軽にお声掛け下さい。

平成28年度今後の農業委員会の主な活動予定

4月28日(木)	稲作体験学習会種まき	10月中旬	農地利用状況調査
5月23日頃	田んぼ取水	10月下旬	脱穀
6月11日(土)	苗取り	11月中旬	農業まつり
6月13日(月)	田植え	12月	お米の調理
10月6日(木)	稲刈り	2月	農業者懇談会